



平成28年9月10日(土)

九州を直撃すると思われた台風12号が来ることに不安を感じていましたが、被害もなく、安堵しました。日中はまだ冷房が必要な暑さですが、日射しもやわらぎ過ぎやすくなっています。ひよこぐみは早速、帽子をかぶり、2階のテラスへ出ました。花壇のお花を指さしながら保育士の手を引いて話しかけたり、転がったボールを追いかけてたりして遊んでいます。一人ひとりが小さなからだで夏から秋への季節の移り変わりの刺激を感じながらとてもいい表情をしています。

子どもたちの体調を見ながら、外あそびやお散歩などを多く取り入れていきます。



**\* 絵本だいすき! \***

9月に入ってから午睡前に絵本を読んでいます。

保育士が「絵本読むよ」と話しかけると、保育士の前にチョコンと座ります。“ねないこ だれだ”の絵本を見ると手をたたき、身体で喜びを表わしています。

子どもたちはどろぼうがでてくるところが好きで絵本の中の「それとも どろぼう・・・」で喜んで手をたたきながら笑っています。



～わらべうたあそび～

**1** ちょち ちょち



子どもを膝にのせて、両手をとり2回たたきます。

**2** あわわ



手のひらで口元を軽く3回たたきます。

**3** かいぐり  
かいぐり



両手をグーにして、体の前で上下にまわします。

**4** とつとめ



両手で目元を軽く2回たたきます。

**5** おつむてんてん



両手のひらで顔を3回軽くたたきます。

**6** ひじぼんぼん



片方のひじを曲げ、もう一方の手のひらで軽く1回たたきます。手を入れかえて繰り返します。



ひよこぐみ担任・河内、桑原



立秋に向けて風が心地よくなり過ごしやすくなってきました。日中の温度差で体調不良になりやすいので、食事や睡眠など生活のリズムを整え、元気に乗り越えて欲しいと思います。

9月後半からは、子どもと保育士の二人きりで散歩に行きます。近くの公園や広場で、おやつを食べたり、触れ合ったり、見つめ合ったりの時間を過ごします。

## トンボ

涼しくなってきたので、園庭で遊ぶ日が増えてきました。7月に遊んでいたときはダンゴ虫探しが好きだった子どもたち。先日も数人の子どもがダンゴ虫を探していました。しかし、ダンゴ虫は見つからず「おらんねー」と話していると、遠くの方であつきくんが「トンボ！」と言いながら追いかけていました。それを見たダンゴ虫探しをしていた子どもも、トンボの追いかけてこに変わっていました。

保育室に飾ってあるトンボにも、手を伸ばして捕まえようとしたり、うた「トンボのメガネ」を歌ったりしています。

季節と共に、子どもたちの遊びも変化しています。



## ★わらべうたの紹介

♪じーじー（ゆっくり上下に2回動かします）

ばあ（顔をのぞかせます）

じーじーばあ（繰り返し）

ちりん ぼろんと

（ゆっくり上下に2回動かします）

とんでったー！（布を飛ばします）

ハンカチや布を使って行きます。いないいないばあのように顔を隠したり出したりするので、子どもたちに人気です。午睡時に自分のタオルで表現する子どもや、「じーじーばあ」の部分だけを繰り返し歌っている子どもたちですが、“ばあ”のところ保育士と目が合うと、はにかみながらも嬉しそうです。

少しずつ単語や短い文章で話すことが出来るようになってきました。子ども同士で会話が成立するようになり、興味のあるものや人の名前が言えるようになり、すみれ組は会話のやりとりが豊かです。また、遊びも1人より2~3人に変化し、友達との関わりも増えて、玩具の取り合いや思い通りにならなかったことへの悔しさから、子ども同士のトラブルが起きている。まだ十分に自分の気持ちを言葉にして表現できず、相手を押ししたり叩いたりした行動で表わしてしまうこともありますが、保育士は出来るだけ見守り、お互いに通い合わない葛藤を言葉にして、やさしい雰囲気になしながら、少しずつ言葉で伝えることができるように支えています。

# ちゅうりっぷぐみだより

平成 28 年 9 月 10 日(土)

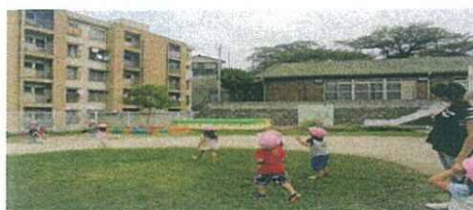
保育園の隣の畑にある芋のつるが伸びてきて、「美味しいお芋ができていますよ」と知らせているようで秋の訪れを感じます。しかし、季節の変わり目には体調を崩しやすい時期でもありますので、保育園でも子どもたちの体調に気を付けて、元気を守っています。



## まてまて～

今月に入り、園庭に出て遊べるようになって久しぶりに園庭で遊びました。今までは、花壇や滑り台の下でダンゴ虫探しに夢中になっていた子どもたち。しかし、先日園庭に出てみると、子どもたちの頭の上でトンボが飛んでいました。その光景に子どもたちは、「トンボさーん」「まてまてー」と必死に追いかけていました。その後、ひまわり組のお兄ちゃんお姉ちゃんたちが虫取り網をもって追いかける姿をみたちゅうりっぷ組の子どもたちは「お兄ちゃん、がんばれー」と応援していました。

これから外に出られる日も増えてくるので、子どもたちと一緒にいろいろな『秋』を探していきたいと思います。



今月下旬より、ちゅうりっぷの子どもたちの1人と保育士の2人きりのかけがえのない時間を過ごしたいと思います。近くの公園への遠足を計画しています。お話をしたりしながら、おやつも食べて帰ってきます。

しっかり手をつないで遊びがより楽しくなりますので、履き慣れた靴を用意しておいてください。

先日、園庭にでた時に、お人形の小さな靴を拾ったゆうかちゃん。その靴を保育士へ見せに行き「これ誰のお靴？」と聞きました。保育士が「誰のだろうね？」と言うと「ありさんのかも」と近くにいたありの方へ持って行っていました。自分たちと同じ仲間と思つての豊かな想像をしています。

2歳児担任：崎野、中村（亜）、唐木、福岡



H 2 8 . 9 . 9 (金)

「 アイスクリームありませんか〜? 」

お昼寝から起きてきた子どもたちがままごとコーナーが変わっていることに気がつきました。「あれ、何これ??」「アイスクリームがある〜。」と興味津々の様子でした。早速遊び始め「いらっしやいませ〜。アイスクリームいかがですか〜?」

「チョコといちごもありますよ〜。」「じゃあ、チョコください。」「(アイスのカップにアイスを入れて) はい、どうぞ〜。溶けるから早く食べてくださいね〜。」と子どもたち同士でやりとりを楽しんでいました。子どもたちがアイスクリーム屋さんやお客さんの役になって遊んでいる様子を見て“次は何屋さんにしようかな”“子どもたちは何がしたいかな”と考えています。



「 山登り 」



子どもたちに金比羅登山と皿倉登山の話をしました。「こすもす組になってお兄さん、お姉さんになったから山に登るよ。」「山が上手に登れるようにお散歩に行ってお散歩に行って歩く練習しようね。」という話をしました。その日から「早く登りたいなあ。」「歩いて登るんよね。」と、とてもやる気にあふれている子どもたちです。涼しくなってきたので、戸外散歩を計画しています。



「 早寝 早起き . . . ? 」

山登りの話をしたときに“早寝・早起き・朝ごはん”の話もしました。「体が疲れていたから山に登るときにきついから、早寝・早起き・朝ごはんを食べて元気な体で登ろうね。」と話す子どもたちが言葉を繰り返し始めました。「早寝・早起き・早迎え!!」真剣な表情で言い間違えていたのでかわいかったです。和やかな雰囲気になりました。



H28. 9. 9(金)

みんなで植えたミニヒマワリの花が咲きました。たんぼぼさんが畑の水やりをしている様子を見ていた子どもたちは、ひまわりが毎日元気になるようにお水（栄養）を順番にあげていました。花が咲いてからは子どもたちの方から花に声をかけるようになり、登園してきてから「今日もいい天気だよひまわりさん」や「ひまわりの手と足って根っこなの？土の中って涼しいの？」とひまわりとの会話を楽しんでいます。園庭にたんぼぼ組が秋の花の種をたくさん植えています。ひまわり組は秋にはどんな花が咲くのかと楽しみにしています。



### うわ！すごい！

ある日けん玉の練習をしていたKさんとYくん。そこへ2人が大皿と中皿の技の練習をしたところをちょうど見ていた女の子たちは、2人の玉が中皿にのった瞬間を見て「すごい！」と言い拍手をしていました。その声を聞いた周りの友だちも2人の周りに集まって「何をしたの？もう1回見せて」や「どうしたらできたの？」と興味津々に2人がけん玉をする様子を見ていました。それから2人のようにけん玉ができるようになりたいと少しずつ練習をし始める姿が見られてきました。次はどんな技を見せてくれるのでしょうか。楽しみです。



### 捕まえるぞ

少し涼しい日が続いたので園庭に行きました。虫捕りあみと虫かごを持って虫を捕まえる準備は完璧だった子どもたちは、くつを履くと園庭へ元気に出かけていきました。そこへトンボが2匹飛んでくると「待ってー、あと少しで捕まえられるから」とみんなで捕まえようとトンボと子ども達の追いかけっこが始まりました。あみが無い子どもたちは自分でどうやって捕まえるか考え、手を伸ばしたり走って先回りしたりしていました。



### 元気が1番

早寝・早起き・朝ごはんをして過ごすと身体が元気になるということを子どもたちに伝えました。子どもたちは秋にある登山やマラソン大会を思い浮かべ「頑張って山に登れるように、何でもがんばって食べる」や「疲れないように早く寝て身体を休ませてあげる」などと話していました。これから少しずつ散歩など、行事に向けて子どもたちと体力をつけていこうと思います。



発行：平成28年9月9日（金）

真っ黒に日焼けした子どもたち。プールやお祭りなど、いろいろな体験を重ねて、充実した夏を過ごした思い出とともに、一回り大きく育ったように感じます。  
これから実りの季節を迎え、子どもたちの身体と心もさらに大きな実を結び頼もしく育つ「たくましい秋の日々」が始まります。



### ほくたちのスイカ

夏の暑い間、水やり等のお世話をしてきた夏野菜の収穫も終え、楽しみにしていたスイカの収穫の日がやってきました。少しずつ生長をして小さな実をつけた時には、「スイカの赤ちゃんだ！」と大喜びし、葉にアブラムシが付いていると追い払ったりし、少しずつ大きく生長していくスイカを見ては、「どれくらい大きくなるんだろう」「どんな味になるかな」「甘いだろうな」と毎日楽しみにしてきました。

いよいよ収穫の日。ヘタを切りスイカを持ち上げるとその重さに驚き、喜んでいました。食べることを楽しみにしていた子どもたちは「甘いかな」「中は赤かな」「種もあるかな」とドキドキした表情を浮かべていました。スイカを切り真っ赤な実が見えると「うわ。ちゃんとスイカになってる！」「たんぼぼぐみのみんなで育てたスイカは甘そう！」と嬉しそうにしていました。

自分たちで育てたスイカは格別のように、一口ずつ味わって美味しそうに食べていました。



### 秋がやってきた

部屋の窓を開けていると、心地よい風が入ってきました。子どもたちは「気持ちがいいね」「少し前まで暑かったのにもうすぐ秋だもんね」と秋の訪れを感じていました。すると空を眺めながら「何か夏と秋がケンカしてるみたい」とAちゃん。Tくんも「本当だね、“まだ夏がいいよー”“もう秋だよー”って夏と秋がお話ししてるかもね」と2人で顔を見合わせて笑っていました。

### 「頑張って練習しています！」

今、子ども達は「黒田節」「ちゃっきり節」「よさこいソーラン節」3つの踊りの練習をしています。

この秋は、ひっぱりだこのたんぼぼ組です。施設や舞台での発表の経験は、この秋の経験をより深めるようです。